

2016/2017シーズン第一次ジャパンチーム合宿報告

(8月19日～9月17日 ニュージーランド・チリ)

日本障がい者アルペンスキーチームの合宿が8月19日から行われました。2016/2017シーズンの始まりです。今シーズンのスタートは昨年に続きニュージーランドからになりました。ニュージーランド合宿が終わってからは、日本には帰国せずそのまま南米のチリに移動し高速系(スーパー大回転、滑降)の練習をするという日程でした。

ニュージーランド合宿は2週間ほどでしたが、残念ながら天候に恵まれず4日間しか練習が出来ずに終わってしまいました。雪上へ上がれない日は、ジムでのトレーニングや、近くの大きい湖(ワナカ湖)でカヌーに乗りバランストレーニングなどを行いました。

続いて、チリへと移動したのですが、チリのスキー場(ヴァレナバドスキー場)は標高約3,000mの所にあり、宿舎もスキー場のそばにあるため3～4日は高山病にならないよう注意して過ごしました。初日はさすがに苦しかった記憶があります。雪上でのトレーニングは、ニュージーランドとは打って変わり晴天の日が続き、予定していた高速系のトレーニングは勿論のこと、用具などのテストも行うことが出来ました。苦手な高速系の練習が出来たのは自分にとっては本当に良かったです。

次の合宿は10月15日からオーストリアで行われます。また良い報告が出来ればと思います。

KYB株式会社 広報部
鈴木 猛史(チェアスキーヤー)



チリ合宿最終日にスタッフと記念撮影



健常者アルペンスキーで活躍しているノルウェーのスフィンダル選手(右から2番目)と記念撮影



ワナカ湖でのカヌートレーニング

以上